「内科専門医試験　バーチャル模試2023」正誤表

本番組におきまして、以下の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに、深くお詫び申し上げます。

回/番組名	時間	該当箇所	誤	正
第3回　第41～60問	0:30:50	第60問　問題	69歳の男性。肺腺癌Stage IIIAに対し、シスプラチンとビノレルビン併用による術後化学療法が施行されている。 このレジメンは、好中球減少性発熱を生じる確率が22%である。	65歳の女性。非小細胞肺癌のIVA期で、ドライバー遺伝子変異陰性。初回治療での化学療法が奏功しなかったため、２次治療としてドセタキセルとラムシルマブ併用による化学療法が施行されている。 このレジメンは、好中球減少性発熱を生じる確率が34%である。
第5回　第81～100問	0:01:04	第81問　正解	e．EVL+EIS併用治療はEVL単独と比較して再発率が低い	e．　EVL治療後のEIS併用療法はEVL治療単独と比較して、再出血率に差はない
	0:02:23	第81問　解説	EVL後に地固め療法を追加すると再発率は低くなりますが、食道狭窄の合併症に注意が必要です。	EVL治療後にEISを併用する場合、EVL治療単独と比較して再出血率に違いはなく、むしろEIS併用によって食道狭窄などの偶発症が増加するとされています。
第10回　第181～200問	0:12:37	第187問　正解	e．ガドリニウム造影剤は腎機能低下例にも使用できる	b．負荷検査により虚血の評価が可能である